

第3期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画の 策定に係るアンケート調査の実施について

1 アンケート調査（利用希望を把握するための調査）を行う趣旨

子ども・子育て支援法において、市町村は、国が示す基本指針に即して、5年を1期とする市町村子ども・子育て支援事業計画を作成することとされている。その計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びにそれに対応する提供体制の確保の内容及び実施時期について定めることになっている。

市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画の作成にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うことが求められている。

（内閣府『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』（平成26年1月、以下「第1期手引き」）より抜粋）

2 アンケート調査項目の概要

第1期手引きで示された量の見込みを算出するための全国共通項目のほか、本市独自の項目として「鈴鹿市子どもの貧困対策計画」「鈴鹿市子どもの権利条例（仮称）」のための設問を追加している。

なお、調査票様式について、第1期計画策定時に国が示したものをベースとしている。

3 調査対象者

就学前児童、小学生の保護者の方を無作為に抽出。対象者数については、前回調査と同数とし、就学前児童の保護者の二重把握をより多く行うこととする。

- ・就学前児童の保護者 2,400人 （前回調査票回収数 1,187人、回収率 49.5%）
- ・小学生の保護者 1,600人 （前回調査票回収数 797人、回収率 49.8%）

4 スケジュール概要

時 期	内 容
2023年8～11月	アンケート素案の作成（子ども・子育て会議）
2023年12月	アンケート調査実施
2024年1月～3月	アンケートの集計・分析（子ども・子育て会議）
2024年4月～9月	計画素案の作成（子ども・子育て会議）
2024年10月～11月	庁内協議，議会对応
2024年12月	パブリックコメント実施
2025年1月	計画最終案の協議，決定（子ども・子育て会議）
2025年2月	庁内協議
2025年3月	計画公表

《 未就学児童保護者用 》

■鈴鹿市子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査項目案

「国の調査項目」欄：国の子ども・子育て会議で示された調査票案がベース

・「●」は量の見込みの推計上必須な項目 「○」は国の調査票に掲載されているが量の見込みの推計には使用しない項目

・赤文字は修正や新たに設問を追加した箇所

・白紙は市独自質問

見出し	国の調査項目	質問項目名		備考欄
		NO		
お住まいの地域について	●	問1	居住地区	
お子さんご家族の状況	●	問2	子どもの生年月日(年齢算出用)	西暦表記に変更
	○	問3	子どもの人数	
	●	問4	回答者の続柄	
	●	問5	配偶者の有無	
	●	問6	子育て(教育を含む)を主にしている人	
子どもの育ちをめぐる環境	○	問7	日常的に子育てに関わっている人・施設	
	○	問8	子育て・教育に最も影響すると思う環境	
	○	問9	日頃、子どもをみてもらえる人の有無	
	○	問9-1	祖父母等の親族にみてもらっている状況	
	○	問9-2	友人・知人にみてもらっている状況	
	○	問10	気軽に相談できる人・場所や情報を入手できる人・場所の有無	
	○	問10-1	(1)相談している相手 (2)情報の入手先	
	○	問11	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいと思うか。(自由意見)	
保護者の就労状況	●	問12	母親の就労状況(形態・日数・時間・時刻)	
	○	問12-1	(1)1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)	
	○	問12-2	(2)家を出る時刻と帰宅時刻	
	●	問12-3	パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望	
	●	問12-4	未就労者の今後の就労意向と希望就労形態	
	●	問13	父親の就労状況(形態・日数・時間・時刻)	
	○	問13-1	(1)1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)	
	○	問13-2	(2)家を出る時刻と帰宅時刻	
	●	問13-3	パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望	
	●	問13-4	未就労者の今後の就労意向と希望就労形態	
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	●	問14	定期的な保育サービス利用の有無	
	●	問14-1	定期的に利用している教育・保育事業	
	●	問14-2	利用状況の詳細(種類・日数・時間・利用時間帯・希望時間帯)	
	○	問14-3	利用している教育・保育事業の実施場所	
	○	問14-4	定期的に利用している理由	
	○	問14-5	利用していない理由	
		問14-6	市の子育て支援施策として期待するもの	
	●	問15	今後の定期的な保育サービス利用意向(種類)	
		問15-1	利用している、利用していないにかかわらず、利用したい保育サービス	
	○	問15-2	今後の定期的な保育サービス利用意向(場所)	
	●	問15-3	問15の回答 で選択肢の確認	問15-4を回答するにあたって、国の問が分かりにくい ため追加
	●	問15-4	特に幼稚園の利用を強く希望するか	手引きに沿って、追加。
地域子育て支援事業の利用状況	●	問16	地域子育て支援事業の利用状況(回数)	
		問16-1	利用したことがある施設はどこですか。	
	●	問17	今後の地域子育て支援事業の利用意向(回数)	
	○	問18	市の子育て支援関連事業の認識・利用状況、今後の利用意向	
土曜日・休日、長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	●	問19	今後の土日祝における定期的な教育・保育事業の利用意向(頻度・希望時間帯)	
	○	問19-1	月に1～2回利用したい理由	
	●	問20	幼稚園利用者における長期休暇中の利用意向(頻度・希望時間帯)	
	○	問20-1	幼稚園利用者における週に数日利用したい理由(長期休暇中)	

見出し	国の調査項目	質問項目名		備考欄
		NO		
平日の教育・保育事業利用者における病児の際の対応	●	問21	病気やケガで利用している通常の事業を休んだ有無	
	●	問21-1	対処方法及びその日数	
	●	問21-2	施設に預けたかった意向の有無(日数)	
	○	問21-3	病児・病後児のための保育施設等の望ましい事業形態	
	○	問21-4	施設に預けたいと思わなかった理由	
	○	問21-5	父母のいずれかが休んで看たい意向	
	○	問21-6	父母のいずれかが休んで看れない理由	
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	●	問22	この1年間に不定期に子どもを預けた時に利用した事業(利用事業・日数)	
	○	問22-1	事業を利用していない理由	
	●	問23	一時預かりの今後の利用意向(状況・日数)	
	○	問23-1	問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいか	
	●	問24	短期入所生活援助事業の利用希望の有無	国の手引きに合わせた形の設問に変更。
小学校就学後の放課後の過ごし方(5歳以上)	●	問25	小学校低学年(1～3年生)での過ごし方の意向(種類・日数)	
	●	問26	小学校高学年(4～6年生)での過ごし方の意向(種類・日数)	
	○	問27	学童クラブの土日祝の利用意向(希望時間帯)	
	○	問28	学童クラブの長期休暇期間中の利用意向(希望時間帯)	
育児休業、短時間勤務制度、職場の両立支援制度	○	問29	育児休業制度の利用状況(取得日数)【母親・父親】	
	○	問29-1	育児休業制度の利用状況(取得していない理由)【母親・父親】	
	○	問29-2	育児休業取得後の職場復帰したか【母親・父親】	
	○	問29-3	復帰のタイミングについて【母親・父親】	
	○	問29-4	職場復帰時の月齢(実際・希望)【母親・父親】	
	○	問29-5	3歳まで休暇を取得できる制度があったらいつまで取得したかったか【母親・父親】	
	○	問29-6	希望の時期に職場復帰しなかった理由【母親・父親】	
	○	問29-7	職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか【母親・父親】	
	○	問29-8	職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由【母親・父親】	
	○	問29-9	お子さんの育児休業期間が満了したときに預けられる事業があれば育児休業を取得するか【母親・父親】	

【市の独自項目】

見出し		NO	質問項目名	備考欄
子どもの貧困対策		問30	日本における子どもの貧困の実態	
		問31	子どもの貧困対策に必要なと思うこと	
		問32	子どもの貧困対策として、税金を使うべきだと思うこと	
		問33	現在の生計状況は、お子さんを含めて何人か	
		問34	子育ての中で特に大変なこと(困りごと)	
		問35	子どもの将来について、不安なこと	
		問36	困った時に相談する相手	
		問37	経済的な理由による料金滞納のために、電気・ガス・水道を止められたことがあるか	
		問38	世帯の収入(年間のボーナス含む手取り額、児童手当等の公的手当も含む)	
子どもの権利(その他)		問39	「子どもの権利」を知っているか	
		問40	子どもにとって特に大切だと思うこと	
		問41	普段から、子どもの話を聞くことができているか	
		問42	子どもが困ったり、悩んだりした場合の相談窓口	
		問43	地域活動や行政運営において、子どもの意見を聞くことは大切だと思うか	
		問44	子どもの権利が守られているかを確認するには、何が必要か	
		問45	子育てしやすい環境に必要なもの	
		問46	子どもや子育てにやさしいまちづくりを進めていくために、鈴鹿市が取り組むべきだと思うこと	
		問47	市の子育てに関する情報をどのように入手しているか	
		問48	(1)鈴鹿市において、「子育てが楽しいと感じる度合い」	
			(2)鈴鹿市において、「仕事と子育ての両立が大変と感じる度合い」	
			(3)鈴鹿市において、「子育ての環境や支援に対する満足度」	
		問49	自由意見	

《 小学生保護者用 》

■ 鈴鹿市子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査項目案

「国の調査項目」欄：国の子ども・子育て会議で示された調査票案がベース

・「●」は量の見込みの推計上必須な項目 「○」は国の調査票に掲載されているが、量の見込みの推計には使用しない項目

・赤字は修正や新たに設問を追加した箇所

・白紙は市独自質問

見出し	国の調査項目	質問項目名		備考欄
		NO		
お住まいの地域について	●	問1	居住地区	
お子さんご家族の状況	●	問2	子どもの生年月日と学年	西暦表記に変更
	○	問3	子どもの人数、末子の生年月日	
	●	問4	回答者の続柄	
	●	問5	配偶者の有無	
	●	問6	子育て(教育を含む)を主にしている人	
子どもの育ちをめぐる環境	○	問7	日常的に子育てに関わっている人・施設	
	○	問8	子育て・教育に最も影響すると思う環境	
	○	問9	日頃、子どもをみてもらえる人の有無	
	○	問9-1	祖父母等の親族にみてもらっている状況	
	○	問9-2	友人・知人にみてもらっている状況	
	○	問10	気軽に相談できる人・場所や情報を入手できる人・場所の有無	
	○	問10-1	(1)相談している相手 (2)情報の入手先	
	○	問11	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいと思うか。(自由意見)	
保護者の就労状況	●	問12	母親の就労状況(形態・日数・時間・時刻)	
	○	問12-1	(1)1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)	
	○	問12-2	(2)家を出る時刻と帰宅時刻	
	●	問12-2	パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望	
	●	問12-3	未就労者の今後の就労意向と希望就労形態	
	●	問13	父親の就労状況(形態・日数・時間・時刻)	
	○	問13-1	(1)1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)	
	○	問13-2	(2)家を出る時刻と帰宅時刻	
	●	問13-2	パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望	
	●	問13-3	未就労者の今後の就労意向と希望就労形態	
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況		問14	定期的なサービス利用の有無	
		問14-1	年間を通じて定期的に利用している事業	
		問14-2	定期的なサービスの利用状況と希望(日数・時間帯)	
		問14-3	利用している理由	
		問14-4	利用していない理由	
		問15	現在、利用している、利用していないにかかわらず定期的に利用したいと考える事業	
土曜日、日曜日、祝日 長期休暇中の子育て支援事業の利用希望		問16	土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブ等の希望(時間帯)	
		問17	子育て支援事業の利用は、どの期間を主に希望するか	
		問18	現在、放課後児童クラブを利用しているか	
		問18-1	長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用を希望するか	
		問18-2	毎日ではなく、たまに利用したい理由	
病気の際の対応 (放課後児童クラブ等の 子育て支援事業を利用する方 のみ)	●	問19	病気やケガで学校を休んだ有無	
	●	問19-1	病気やけがで普段利用している放課後児童クラブ等の子育て支援事業が利用できなかった場合の対処方法	
	●	問19-2	できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか	
	○	問19-3	子どもを預ける場合の望ましい事業形態	
	○	問19-4	そう思う理由	
	○	問19-5	父母のいずれかが休んで看たい意向	
	○	問19-6	父母のいずれかが休んで看れない理由	

一時預かり等の利用状況	●	問20	この1年間に不定期に子どもを預けた時に利用した事業(利用事業・日数)	
	○	問20-1	事業を利用していない理由	
	●	問21	一時預かりの今後の利用意向(状況・日数)	
	○	問21-1	子どもを預ける場合の望ましい事業形態	
	●	問22	短期入所生活援助事業の利用希望の有無	国の手引きに合わせた形の設問に変更。

【市の独自項目】

見出し		NO	質問項目名	備考欄
子どもの貧困対策		問23	日本における子どもの貧困の実態	
		問24	子どもの貧困対策に必要なと思うこと	
		問25	子どもの貧困対策として、税金を使うべきだと思うこと	
		問26	現在の生計状況は、お子さんを含めて何人か	
		問27	子育ての中で特に大変なこと(困りごと)	
		問28	子どもの将来について、不安なこと	
		問29	困った時に相談する相手	
		問30	経済的な理由による料金滞納のために、電気・ガス・水道を止められたことがあるか	
		問31	世帯の収入(年間のボーナス含む手取り額、児童手当等の公的手当も含む)	
子どもの権利(その他)		問32	「子どもの権利」を知っているか	
		問33	子どもにとって特に大切だと思うこと	
		問34	普段から、子どもの話を聞くことができるか	
		問35	子どもが困ったり、悩んだりした場合の相談窓口	
		問36	地域活動や行政運営において、子どもの意見を聞くことは大切だと思うか	
		問37	子どもの権利が守られているかを確認するには、何が必要か	
		問38	子育てしやすい環境に必要なもの	
		問39	子どもや子育てにやさしいまちづくりを進めていくために、鈴鹿市が取組むべきだと思うこと	
		問40	市の子育てに関する情報をどのように入手しているか	
			(1)鈴鹿市において、「子育てが楽しいと感じる度合い」	
		問41	(2)鈴鹿市において、「仕事と子育ての両立が大変と感じる度合い」	
			(3)鈴鹿市において、「子育ての環境や支援に対する満足度」	
		問42	自由意見	